



思わぬ副作用の危険あり

## 多剤投薬にご注意！

「はしご受診」はやめましょう

「あのお医者さんとはなんとなくウマが合わない！」「自分に合った薬を処方してくれない……」このような理由だけで、同じ病気で複数の医療機関を渡り歩くことを「はしご受診」といいます。

はしご受診は、それぞれの医療機関から別々に薬を処方されるため、服用する薬の数が多くなり、副作用を招きやすくなるので注意が必要です。しかも、「医療機関を変えるたびに「初診料」や「検査料」などを支払わなければならないので、医療費も余計にかかってしまいます。健康のためにも、家計のためにも、はしご受診はやめましょう。

「かかりつけ薬局」をもちましょう

処方せんを持参して調剤してもらう場合、薬局をどこか一つに決めておけば、服用履歴（薬歴）データがそこで蓄積されるため、自分の体質やアレルギーなどを考慮した調剤をしてもらえます。

複数の医療機関から処方せんが出ている場合も、薬の重複投与や薬のみ合わせをチェックしてもらえるので、患者はより安全に薬を服用することができます。また、残薬やジェネリック医薬品など、薬のこともならなくても気軽に相談できるのも大きなメリットです。適切な服薬のために、自分にあつたかかりつけ薬局を決めておきましょう。



### ！ かかりつけ薬局を選ぶポイントは？

かかりつけ薬局は、自宅や勤務先など、通いやすい場所にあることが重要です。また、きちんと薬の説明をしてくれるか、患者の悩みや相談に親身になって答えてくれるか、心配りができるか、なども大切なポイントです。

### ！ 医師とのコミュニケーションは十分ですか？

今受けている治療に不安などがあるときは、まずは納得いくまで医師と十分話し合ってみましょう。治療には患者と医師とのコミュニケーションが不可欠です。そして、日ごろから信頼できる「かかりつけ医」をもっておくことも大切です。

高齢者を中心に、1人の患者に多くの薬が処方される「多剤投薬」が問題になっています。厚生労働省でも医薬品の適正使用についての検討を進めています。対策の一つとして、医療機関への適切なかかり方を確認しておきましょう。